

1							(別紙3)
2			公表	事業所における自己評価総括表			
3							
4	○事業所名	児童発達支援事業所びっころ円山プラス					
5	○保護者評価実施期間	令和7年 3月 10日		～	令和7年 3月 21日		
6	○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24家庭	(回答者数)	23家庭		
7	○従業者評価実施期間	令和7年 3月 10日		～	令和7年 3月 21日		
8	○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人		
9	○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 24日					
10	○分析結果						
11		事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等		さらに充実を図るための取組等		
12	1	ST・OTが正職員として配置していて。ことばの発達の遅れやデコボコで困っているご家庭に多角的な視点で支援出来る。	自由遊びの時間に児童が行なっている動作を近くで見ながら言語化して伝えている。		必要だと判断した時に、すぐに振り返りやケース会議を行ない、全職員が共通共通認識出来るようにする。		
13	2	幼稚園・保育園・保護者と連携を取り、支援の方針を決めていく事が出来る。	児童への関わり方を職員全員で統一している。		児童との関わりの中での気付きや疑問点などを都度職員間で共有し、より良い関わりや支援を模索していく。		
14	3	見学時の説明が丁寧。保護者の困りごとを聞き、事業所の特色などと照らし合わせる事で契約につなげる事が出来る。	見学に来た児童を支援するつもりで見立てながら、すぐに職員間で情報を共有している。		電話対応、見学時の情報共有を迅速に行ない、職員全員の対応が一貫したものになるよう務める。		
15							
16		事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等		改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等		
17	1	保護者同士での交流の機会が無い。	議題には挙がるが、前例が無く計画が難しかった。		企画案を出し全体に共有をして、まずは行なってみる。実施したうえでの反省点を次回に活かすことを考えたい。		
18	2	利用児童の年齢が近く、毎年10名以上の児童が退所(びっころ円山への移動含む)してしまう。 ※当事業所は児童発達支援事業所のため、就学時には2階のびっころ円山への移動か退所になってしまう。	新規児童の問い合わせ時期によっては、同年齢の児童が多くなってしまった。		年度変わりの時期に行なう、言語聴覚士によるお勉強会参加のご家庭を優先した利用等、同年齢の受け入れ状況を考慮していく。		
19	3	療育の教材が整っていない。	開所時よりも利用児童が増えたため。		児童の支援計画をもとに必要な教材のリストを作り、少しずつ揃える。		

2			公表保護者等からの事業所評価の集計結果							
4										
5	事業所名	児童発達支援事業所びっころ円山プラス					公表日	令和7年 3月 24日		
6										
7							利用児童数	24家庭		回収数 23家庭
8			チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
9	環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	2		1			
10		2	職員の配置数は適切であると思いますか。	22			1			
11		3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。	18	1		4			
12		4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。	22			1			
13	適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を行っていますか。	22			1	活動内容もわかりやすくノートに記載していただき、特性に応じた専門的な訓練等されています。		
14		6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていますか。	10	2		10	未記入1あり		
15		7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分かりますか。	22	1			個人面談で十分に子どもの特性等を伝えて頂き、親の意見等も尊重し、作成されていると思う。		
16		8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供方法」が盛り込まれていますか。	21			2	個別支援計画について、子どもに合った(親のニーズに合った)内容で設定され、その計画に沿った支援が行われていると思います。		
17		9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20			3	個別支援計画について、子どもに合った(親のニーズに合った)内容で設定され、その計画に沿った支援が行われていると思います。		
18		10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20			3	ほとんどが毎回違う内容の活動を行なってくれています。自宅等で体験できない事や季節に合った製作等も行なっていて子どもにいい刺激となっていると思います。		
19		11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと交流していますか。	6	1	3	13			
20	保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について説明していますか。	23						
21		13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23						
22		14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)を実施していますか。	12	2	2	7	研修会は無いが、常に連絡を取れる体制なので困ったことはない。		
23		15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に留意していますか。	22			1			
24		16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21			2	毎回のノートへ記入されている内容は大変ありがたいです。もう少し面談のようなものが回数的にあってもいいと思います。		
25		17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21			2			
26		18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流が促されていますか。	1	3	6	13			
27		19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されていますか。	20			3	相談があった際には、TEL等で解決していただきました。		
28		20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21			1	※未記入1あり ノートやHPから確認出来ています。ノートが分かりやすいです。		
29		21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制が共有されていますか。	21			2	毎回の活動の様子をHPで見るのが楽しみです。		
30		22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21			2			
31	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアルが整備されていますか。	15	1		7	契約の際にしっかり説明を受けているので心配していません。		
32		24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っていますか。	4	3		16	契約の際にしっかり説明を受けているので心配していません。		
33		25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、保護者に説明が行われていますか。	17	2		4			
34		26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事後対応が行われていますか。	16	1		6			
35	満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	2			びっころの日が待ち遠しいほど、安心感を持って通所しています。		
36		28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	3					
37		29	事業所の支援に満足していますか。	22			1	気になっていた発音不明瞭な事も以前より改善してきており、お友達とのコミュニケーションも増えているようで大変満足しています。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所びっころ円山プラス				公表日	3/24/25
環境・体制整備		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		午前午後で人数の振り分けを行なっているので、人数が多くならないように工夫している。	2階のびっころ円山に比べると少し狭いが、机上に特化した活動を取り入れている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	○		職員を加配している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている	○		パーテーション等を使ったり、玩具の置く位置を気を付けている。また、特性に応じて個別室の使用もしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また	○		日々の消毒や清掃の徹底をしている。		
業務改善	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認めら	○		自由遊びで使えない場所というルールを伝えている。学習や切り替えをする場所として認識している。		
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に	○		毎月職員会議等や朝礼を行ない、周知徹底や連携を図っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
適切な支援の提供	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で	○		社内研修、ケース会議等を積極的に行なっている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者	○		期間内に行なっている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけ	○		更新の際に担当者会議を行なっている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われ	○		行なっている。	保護者様にわかりやすい支援計画を心掛けていたので、一目で支援性がわかる計画書になっていないご家庭もあった。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日			独自のアセスメント表を使っている。	年齢に分けたアセスメントツールがあったら細分化出来るのではないか。また、作成したアセスメントの改良が少なく、改良を検討。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支	○			明確にしているが、本人支援の枠が大きく、他の支援記入欄が少ない。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		週案であるが、全職員で決めている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			17で挙げているように気を付けているが、ルールの定着を図るねらいもあるので回数が多くなってしまう児童も出てしまう。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて見	○				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の	○		午前午後で朝礼・昼礼を行ない、反省や打合せをしている。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援	○		朝礼・昼礼や適宜必要な場面で行なっている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に	○		言語聴覚士・作業療法士の日常生活や個別の評価、保育士による	記入するポイント(視点)の共有が難しく一目でわかるような内容じゃない事もある	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性	○				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこども		○	相談支援事業所を利用しているご家庭が今現在ではいません。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係		○		ST・OTがいるので医療機関や繋がりのある幼稚園・保育園とは連携を取っているが、地域や学校は希薄。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の	○			ご家庭や各関係機関にも情報共有に当事業所は積極的である事は伝えているが、希望しているご家庭や関係のある関係機関のみ、連携を図れている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、ま	○			ご家庭や各関係機関にも情報共有に当事業所は積極的である事は伝えているが、希望しているご家庭や関係のある関係機関のみ、連携を図れている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)			定期的な訪問の時に助言を頂いている。		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する	○				
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や	○			普段から会えないご家庭もあるので、全ご家庭と共通理解が持てているかは不透明だが、定期的に電話や面談を行なうなど、共通理解を持てるよう努めている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレ		○		職員がペアレントトレーニング研修に参加しているので、そういった会の開催や保護者会を検討しているが、実施には至っていない 年中向けに就学に向けた研修会は毎年実施	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行	○		見学時からお伝えしている。		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重	○				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者か	○				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ	○				
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同		○		言語聴覚士によるお勉強会や就学に関する説明会等は行なっているが、対象年齢があるため、一部の方のみの発信になっている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備す	○				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要		○		情報発信を行なうようにしているが、勉強会や防災訓練の告知を徹底出来ていない。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについて同意を得ている。		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域住民を招待した行事は毎年検討はしているが、どういった行事が適切か模索中。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感	○				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、	○				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認し	○		見学・契約時に確認している。		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	除去を徹底しているが、指示書に基づいた対応ではない。		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措	○				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく		○		契約時に説明をしているが、ご家庭と連携が図れるような説明にはなっていない。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について	○				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を	○				
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に	○				